

平成 23 年第 11 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 23 年 11 月 25 日（金） 9 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 12 時 00 分
3. 開催場所 加西市役所 5 階会議室（大）
4. 出席委員
委員 長 荒 木 貴 子
委 員 市 場 かおり
委 員 渡 邊 隆 信
委 員 内 藤 堯 雄
教 育 長 永 田 岳 巳

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名
教育次長 大 西 司
学校教育課長 小 林 剛
こども未来課長 深 田 秀 一
こども未来課主幹 後 藤 則 子
自己実現サポート課長 立 花 聡
総合教育センター所長 柿 本 博 司
教育総務課長 中 倉 建 男
教育総務課課長補佐 千 石 剛

6. 付議事項

議案第 5 1 号 情報公開にかかる不服申立てに対する決定等について

議案第 5 2 号 平成 2 4 年度加西市立小・中・特別支援学校教職員異動方針について

議案第 5 3 号 平成 2 4 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について

議案第 5 4 号 加西市立幼稚園における預かり保育に関する規則の一部を改正する規則の制定について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

議案第 5 1 号 情報公開にかかる不服申立てに対する決定等について

議案第 51 号情報公開にかかる不服申立てに対する決定等について、教育総務課長より、平成 23 年 11 月 9 日付けで行政不服審査法第 6 条の規定による異議申立てがあったため、これに対しての決定をし、同時に情報公開審査会へ諮問するにあたり、委員会の議決を求めるものと説明する。1 件目の不服申立てについては、平成 21 年 9 月 2 日付け情報公開決定通知に対するものであるため、行政不服審査法第 4 5 条の規定を満たしておらず、却下と決定するもの。2 件目の不服申立てについては、平成 23 年 10 月 21 日付け情報部分公開決定通知に対するもので、条例の適否や違法性の判断を求める事項など、部分公開決定に対する不服申立てとなり得ない事項に関しては却下するため、一部を却下と決定し、他の不服申立てとなり得る事項に関しては情報公開審査会へ諮問するもの。以上 2 件の詳細を説明する。

教育委員より、不服申立人の申立要旨の一つに、定例委員会と臨時委員会の開催時間を合算して教育委員の報酬を時間当たり単価として算出し、報酬の適否の判断を求めているが、定例会等の教育委員会以外の活動も少なくないため、そういった活動に関する理解を得られるように努める必要がある。

教育次長より、会議録への署名が開示されていないことを不服として主張されている事項のみが、情報公開審査会への諮問対象となり得る。他の事項に関しては諮問せず、却下の決定をするものと説明し、一部文言修正をもって承認される。

議案第 5 2 号 平成 2 4 年度加西市立小・中・特別支援学校教職員異動方針について

議案第 52 号平成 24 年度加西市立小・中・特別支援学校教職員異動方針について、学校教育課長より、県の方針に準じて加西市の方針を定めるものであり、基本方針、異動の時期、異動及び新採用の基準等の概要を説明する。

教育委員より、適材適所に配置するとともに斬新さも加味し、組織力が向上するような人事をお願いしたいとの要望がある。また、教育委員より、異動にあたっては、公平公正に全体のバランスを図りながら行ってほしいとの要望がある。次に教育委員より、所有教員免許の確認について質問があり、学校教育課長より、管理簿と更新制度に基づき適正に行っていると説明し、原案どおり承認される。

議案第 5 3 号 平成 2 4 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について

議案第 53 号平成 24 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について、学校教育課長より、加西市立加西特別支援学校学則第 8 条第 2 項の規定により委員会の議決を求

めるものと説明する。補足として、今後の適性検査や合格発表等の流れについて、及び入学希望者の動向や情勢について説明し、原案どおり承認される。

議案第 5 4 号 加西市立幼稚園における預かり保育に関する規則の一部を改正する規則の制定について

議案第 54 号加西市立幼稚園における預かり保育に関する規則（平成 12 年加西市教育委員会規則第 2 号）の一部を改正する規則の制定について、こども未来課長より、現在北条幼稚園及び九会幼稚園の 2 園で実施している預かり保育に、泉幼稚園を加えた 3 園で実施とするよう改正するものと説明し、改正の理由や希望者の状況等を補足説明する。

教育委員より、他の幼稚園の保護者から要望があった際にも、15 名以上という条件を満たせば開設するのかなどの質問があり、こども未来課長より、原則としてはセンター園方式での実施とするため、この 3 園にとどめる予定であると説明し、また教育長より、さらなる要望については幼保一体化で対応したいとの方針を説明する。

教育委員より、教育委員会の方針もあるが、現在その年齢にある子どもについて、出来る範囲で開園するなど保護者のニーズを踏まえたより良い対応を願いたいとの意見がある。

以上をもって原案どおり承認される。

9. 議決事項

議案第 5 1 号 情報公開にかかる不服申立てに対する決定等について

一部修正のうえ可決

議案第 5 2 号 平成 2 4 年度加西市立小・中・特別支援学校教職員異動方針について

原案どおり可決

議案第 5 3 号 平成 2 4 年度加西市立加西特別支援学校高等部入学者選考要綱について

原案どおり可決

議案第 5 4 号 加西市立幼稚園における預かり保育に関する規則の一部を改正する規則の制定について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育長の報告

平成 22 年度教育委員会点検評価を受けた今後の方針について、11 月 14 日に教育委員会評価委員長である京都教育大学の竺沙先生を訪ね協議を行う。事務局から次回用の評価シート案を提示し意見を求めたほか、調査委員会の構成等、運営そのものについても相談し、竺沙先生からは、評価シートの様式については事務局が評価結果を今後に反映しやすい形にし、評価のための評価ではなく次回に活かすための評価にして欲しいとの意見を受ける。評価のまとめ方については、分かりやすい資料となるようまとめ、重点課題ごとにマトリックス型のひとつの表にまとめるなどの工夫をしてはどうかとの提案や、事務局の自己評価と教育委員会の評価が二つある形でなく、一体のものとして表記してはどうかとの提案がある。

評価委員会を複数回開催することに関しては、委員長としては、何度も集まるのは委員構成上から困難であろうし、必要性も大きくないため、これまで通り一回でいいが、事前に評価しやすい資料をやり取りして丁寧な対応を行うようにしてはどうかとの意見がある。評価委員会の構成や役割については、他市の例など一般的には、教育委員会は地域や保護者、学識経験者の視点から評価し、評価委員は教育の専門家として分析し、教育委員会評価が妥当かどうか判断すれば良く、加西市のような評価委員の構成はあまり他市では見ない。他市では大学教授など教育の専門家 1~2 名で構成しているため、今後の検討課題としての意見を受ける。

(2) 教育次長の報告

教育次長より、木造校舎耐震化事業の地元説明会について、宇仁小学校の説明会は、10 月 31 日に八王子会館において開催し、約 40 名の参加があった。改築による耐震化が既に決定しており設計業務も進んでいるため、全体工程と新しい学校の多目的スペース・エコ対策等概要説明を行い、地元から給食・通学・バリアフリー等に関する質問があり、その対応を説明する。今後、地元からの意見は学校を通じて市で受け、その内容を設計に反映する。次回の地元説明会では、その意見等を反映し、学校と調整した図面で説明を行う。

西在田小学校の説明会については、11 月 16 日に学校において開催し、約 50 名の参加があった。耐震化の方法について、補強及び改築の耐震化工事の内容説明を行い、質疑応答を行った後に地元の意見を確認した結果、参加者全員が改築による耐震化を希望するという意向を確認する。改築工事が完成するまでの間は、今年度の事業で既存木造校舎の応急耐震補強工事をする事を説明する。また、建て替えるなら、県道の南側の敷地に建てることは出来ないかとの意見が出たが、国の耐震化方針もあり財政上困難であると説明する。

富田小学校の説明会については、11 月 18 日に富田会館において開催し、約 80 名の参加があった。西在田小学校と同じく、補強および改築の耐震化工事の説明を行い、質疑応答

の後、地元の意見を確認した結果は、参加者全員が改築による耐震化の意向であることを確認する。併せて、今年度に既存木造校舎の応急耐震補強は実施することを説明する。

西在田小・富田小とも改築工事の設計に着手すれば、どのような学校になるか改めて地元説明会を実施することを伝える。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、耐震化工事等の進捗について、北条中学校は旧校舎の解体撤去が進んでおり出来高は92%である。九会小・富合小・泉小学校体育館は完成。泉中学校体育館は、10月末に内部の引渡しを行い、11月より授業に使用している。北条中学校地震改築外構工事は、11月22日に着手し、宇仁小学校地震改築工事設計・北条中学校体育館・日吉小学校体育館耐震補強工事設計も予定通り進んでいる。木造校舎の耐震化計画については、宇仁小学校地震改築工事は基本設計の内容を、富田・西在田小学校は改築工事の全体計画の内容を説明する。次に、情報公開請求について、市民より、平成23年度保育所・幼稚園の春の遠足時のバス料金の見積もり入札の開札結果表について請求があったので、情報公開を行ったことを報告する。

(4) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、児童生徒の学習・生活について、11月は児童生徒に大きなけが人もなく、落ち着いた学校生活を送っていること、生徒指導の問題については、全学校の全職員に早期発見、即対応ということで確認しながら日々邁進していることを報告する。

10月28日、第10回定例教育委員会の後の加西中学校の研究発表会、11月11日に下里小学校の研究発表会、11月18日に富合小学校の研究発表会への参加のお礼とともに、加西中学校と富合小学校の同じ中学校区で研究発表会が開催されたが、食育、小中連携強化を含めて学習指導面においても英語活動の充実というテーマの中で、うまく機能していること、次年度は特別支援学校、賀茂小学校、西在田小学校、善防中学校の4校で計画していることなどを報告する。

(5) こども未来課長の報告

こども未来課長より、幼稚園教育研究発表会について、平成23年11月9日に西在田幼稚園で開催され、園長と教諭が研究経過・実践発表をし、その後、神戸常盤大学教授の小崎先生の講演があったことを報告する。次に、神奈川県寒川町からの公立幼保施設統合・民営化実施計画の視察について、人口約47,000人で面積が加西市の10分の1ぐらいの小さな町で、保育園については全て民営化が終わっている。公設民営化や民営化検討委員会の立ち上げなどの話をしたことを報告する。次に、平成24年度の幼稚園・幼児園・保育所入園希望者の状況について、西在田幼稚園については入園予定者が12人となり開園できる状況にあること、

保育所については11月21日現在で総数868名の入所予定者であることなどを報告する。次に、平成24年度の学童保育園入園希望者の状況について、富田と賀茂以外の8校（地域で自主的に実施している宇仁校区を除く）については実施できる状態であるが、その2園については、アンケート調査ではなんとか10人以上になる状況で、入所申込みを見ないと分からないが、開園の方向で努力していきたい。最後に、日吉地区における就学前教育の充実についての提案説明会について、12月3日（土）に午前9時から1時間程度を予定して、市の考えを説明する会を開催する。具体的な内容としては、夏季預かり保育の整備や、既存幼稚園舎で4歳児を入れた施設分離型での2年保育の導入などを説明するものと報告する。

(6) 自己実現サポート課長の報告

自己実現サポート課長より、加西市文化祭「美術公募展」審査結果について、11月19日から23日の5日間、第45回の美術公募展を開催し、11月23日市役所1階市民ホールで表彰式を行ったことを報告する。詳細は、洋画等7部門で応募者数298名、うち市内在住の方が53名で約20%、応募点数389点を審査し、各部門毎に市長賞、議長賞、教育委員会賞の上位3賞と文化連盟会長賞、美術家協会会長賞、奨励賞の計6賞並びに今年度新設されたねひめ賞を合わせた7賞を授与し、入賞者総数64名、うち市内の方は約10名で約15%、ねひめ賞の4名の計68名を表彰と説明する。

次に、第19回ふれあい伝統芸能フェスティバルについて、11月23日に市教育委員会、播磨農業高等学校共催で農業高等学校歌舞伎棟において開催したこと、特に加西歌舞伎クラブは、市内在住の播磨農業高校OBの若者を中心としたグループで、公民館活動を拠点としたグループが初めてフェスティバルに参加するとともに、伝統芸能の継承を行っていることなどを報告する。

(7) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、北播磨青少年健全育成関係機関・団体合同研修会について、12月3日（土）の14時から同研修会を開催する予定で、趣旨は北播磨地区において、青少年の健全育成に係わる関係機関・団体が一同に会し、大人や地域社会がなすべき課題について認識を高めることであり、講師の鎌田敏先生は、全国の140箇所以上、年間1万人以上の方を対象に講演をされている先生で、現在約240名の方が参加する予定であること、などを報告する。

11. 協議事項

(1) 報告事項の中から

○教育委員会評価について

教育委員より、教育委員会評価にあたっては2重評価にならないよう、評価委員会の構成や役割を十分検討して取り組んでほしいとの要望がある。

教育委員より、評価項目の内容はどのように決めているのか、また、評価時期の関係上、評価結果を次年度に生かせるのか、との質問があり、教育総務課長補佐より、評価項目については、加西市行政方針に従って項目を決めている、評価時期については、評価工程を説明して時期的な問題はやむを得ないことを説明する。

○木造校舎耐震化について

教育委員より、予定計画図による駐車場等の配置関係について、安全性を十分検討してほしいとの要望があり、教育総務課長より、今後の実施設計の際に適正な配置を考慮すると答弁する。

(2) 平成22年度教育委員会評価結果について

次回の定例教育委員会で協議する。

12. 教育委員の提案

教育委員より、加西中学校と九会小学校が連携していることは、中一プロブレム解消の良いきっかけとなる。自己実現サポート課と公民館が行っている文化活動は、町づくりの拠点となっている。総合教育センターが行っている青少年健全育成活動において、各小学校に健全育成会があることは、加西が自慢してよい組織である。等々、今後もより良い取り組みに注力してほしいとの要請がある。

教育委員より、地域で保護者から相談事を受けた場合の対応について提案があり、教育長より、各学校長へ伝えれば校長判断により対応するが、内容によっては学校教育課が対応する。教育委員として直接動くのではなく、中立の立場で総合的に判断して行動してもらえば良いのではないかと。学校教育課長より、教育の件については、学校へ言ってもらえば良い。各校共通の課題であれば校長会等で周知し指導する。個人的な話は直接対応する。などの説明をする。

教育委員より、先日の研究発表会は素晴らしいものであったことや、西在田幼稚園で応募人数が定員を満たし休園されない方向にあることなど、今後も教育の充実を目指して各事業を進めてほしいとの要請がある。

13. 今後の予定について

・第12回定例教育委員会

12月26日(月) 13:30～ 5F大会議室

・第1回定例教育委員会

1月26日（木）13:30～ 5F大会議室

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成23年11月25日

出席委員

(出席委員署名)